



夜市で遅くまで働くのも女性

台湾女性の地位向上を実現させた ジェンダー格差解消のための実践

家事・育児は、 日本の女性役割か？

2016年は、日本社会の性別役割や男女共同参画のあり方が話題となった年であった。2月には、『保育園落ちた日本死ね』の匿名ブログをきっかけに、「保育園落ちたのは私だ」という声とともに子育て世代による抗議活動や署名活動へと発展した。1億総活躍社会や少子化問題を政府が掲げるなら、保育園を増やすなど、日本の子育て政策の見直しを求める動きが与野党を巻き込む論争へと広がった。そして年末、視聴率が20%超えのTVドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」が話題となった。

ドラマは、希望した就職が叶わず、家事代行サービスの派遣社員となった大学院卒20代女性が、恋愛経験ゼロの30代独身男の家に家事代行に通う中で展開されるラブコメディ。話題となったのは、キャラクターイン・ケネディー元駐日大使も踊る「恋ダンス」だけではない。家事も派遣を頼めば立派な有償労働、なのに結婚した途端、女性役割として無償労働となる現実だ。つまり、「家事は、妻の愛情の一部であり、金を取るとは何事だ」という点である。

ドラマの行方はさておき、この二つの事例が社会的反響を呼んだのは、ジェンダーによる日本の性別役割と結婚制度。女性が長い間、孤軍奮闘してきた家事、育児、介護と仕事を共存させなくてはならない女性たちの心情が代弁されているからである。そしてまた、日本社会における性別による不平等が一向に改善されないもどかしさに、声をあげる女性が確実に増えてき

たことを示している。

家事、育児、介護と仕事を共存させて生きる現代の日本女性が直面する問題は、海外の女性にとつても、避けて通れないテーマのほずである。そこで、1990年代より急速に経済発展を遂げてきた台湾のジェンダー格差解消への取り組みと、女性の地位向上について述べていきたい。

急速な台湾女性の社会進出

台湾も日本と同様、急速な少子高齢化が進む。2013年の台湾の合計特殊出生率は1.065で日本の1.43よりも低い。2014年、政府が20〜30代を対象に調査をしたところ、結婚を望まない女性24.9%、男性10.7%であった。背景には、1970年代後半より女性の高学歴化が進み、女性の就業率が上昇したことがある。1992年の台湾女性の教育程度別労働力率は、中卒(49.4%)、高校(66.1%)、専科(79.8%)、大学以上(82.0%)と、高学歴になるに従い、就労率が高い。現在の台湾女性の就労形態は、正規雇用が一般的でパートタイムなどの非正規雇用はほとんど見られない。むしろ2000年以降、非正規雇用は男性の方が多い。当然、男女間の賃金格差はない。

ジェンダー・クォータ制度を導入した国会

2016年5月、女性の蔡英文総統が誕生。台湾の国会に当たる立法院の女性議員の割合は38.1%となる。東アジアの中でも、台湾の女性国会議員の割合が突出する背景には、ジェンダー・クォータ制度が導入されたことにある。2005年の憲法改正以降、国政選挙では小選挙

区制と比例代表制の並列制度を採用、議席数も半分の113議席に減らす。内訳は小選挙区が73議席、比例代表が34議席、先住民用議席が6議席である。そして、比例代表の50%は、女性の議席として割り当てられた。また、地方選挙でもクォータ制度が採用されている。

『女性進歩指数』は、 東アジア地域1位

台湾は、「二つの中国」を承認する国際社会の中で、世界経済フォーラムが公表する『世界男女格差レポート』に取り上げられることはない。そのため台湾人は、毎年3月8日の「国際婦人デー」に公表されるマスターカードの『女性の進歩指数』を、女性の社会的地位向上の指標によく使う。2016年3月7日のデータによると『女性の進歩指数』は、62.7で、アジア太平洋地域の平均は57.6であった。台湾は、2008年の58.8から毎年、上昇を続けている。

進歩指数は、指標を基に男女間のギャップ(男女が平等なら100)を数値化して算出する。特に台湾の女性が高い指標は、教育、就労、経済活動(女性経営者、企業的女性管理職者数)、政府に占める指導的女性の地位などである。台湾の女性の就学指数は、中等教育(101.1)、高等教育(110.2)で、女性の方が男性より教育を受ける機会が高いことを示している。そのため、教育に比例して女性の就労指数も正規雇用(112.9)と、正社員としての長期雇用率が男性と比べ高い。就労における正規雇用指数

を東アジア地域の国々と比較すると、香港（108・9）、中国（85・0）、日本（69・6）、韓国（69・2）となり、台湾が突出していることが分かる。

台湾の女性の地位が向上した3つの要因

女性の多くが正規労働者として働き、地位が向上した主な要因を3つ挙げてみよう。1つ目は、台湾社会が1970年代後半より実践してきた男女平等社会構築への取り組みが30年を経て結実したこと。2つ目は経済的な要因である。

台湾の労働者の給与は、日本の約3分の1に対し、台北や近郊の都市部では、マンションの購入費用（写真左）や家賃、車や電化製品などの耐久消費財など、食料品以外の物価が高い。そのため、夫婦共働きでなければ生活は困難である。そして、3つ目の要因は台湾社会におけるジェンダー規範と性別役割が、日本のそれと大きく異なる点である。

台湾と日本のジェンダー規範の違い

「仕事中、子どもは誰に見てもらいましたか？ 家事は誰がしますか？」。台湾で



台北市内の下町の中古マンション。
3部屋33坪（バルコ、共有部分含む）で
4800万円。

出会った女性たちに尋ねると様々な答えが返ってくる。

大学で学部長を務めるYさん（60）は、一人娘を育てながら大学で教えてきた。

「私は、保母さんを雇い、娘を預けました。本当に彼女がいなければ仕事を続けることができたかどうか……。女性に必要なのは、教育と経済力です。その二つがあれば、自立した関係を保ちながら結婚生活が送れます。中国より先に女子教育に力を入れてきた日本に、男女平等が根付いているのは本当に残念です」

2000人の漁師を率いる漁業組合長を20年務めるKさん（50代後半）。現在、大学生の娘と息子を育てながら、仕事をしています。

「本当に子育てと仕事の両立は大変でした。夫が軍人で単身赴任をしていたので、子育てや家事を夫に頼めませんでした。近所に頼る親戚もいなかったため、すべて他人のお世話になりました。今も時々、息子から、『夕飯がいつも売っている弁当だった』と言われるのが辛い」と語る。しかし、夜の酒席に出席しなくても、女性でも組合長の仕事ができることを証明したかったと話す。

台湾では、産後2カ月程で復職するため、子どもを近くの祖父母に預ける。遠くにいる場合は、平日は祖父母宅で、休日だけ親元で過ごす家庭も多い。一方、保育園や幼稚園、あるいは個人的に保母さんを雇う人もいる。母親の給料の半分が子どもを預けるために使われることもある。高学歴の女性ほど、他者の力を借りて子育てをするケースが多い。しかし、子育てにお金がかかるため、一人以上の子を持つことは難しい。

日本では、「子育ては母親の手で行うべし」という「3歳児神話」と呼ぶジェンダー規範がある。そのため長時間子どもを預けることに罪悪感を持つ母親は多い。台湾でも1980年代まではこのような考えは残っていたようだ。しかし現代は結婚の際、嫁は姑から家のローンを息子だけに負わせず、共稼ぎをするよう要求されることが多いという。そして、子どもをみてもらう祖父母に、謝礼を払うのも一般的である。

日本人の夫を持つPさん（41）は、「自分で子育てし、専業主婦でいられる日本の女性が羨ましい」と話す。一方、「台湾のように朝から外食する文化がない日本では、食事も家で作り、部屋も綺麗にすることが常に主婦に求められるので大変です」と語る。

台湾では、家事は夫と妻が平等に行う習慣がある。名医として有名な教授が、家で夕食の支度をするという話も聞いた。

最後に、台湾で母乳運動の促進や育児サイトを立ち上げたJさん（44）。彼女は、中学を卒業した後、臨床検査技師の専門学校から国立医科大学の薬学部を卒業、薬剤師の資格を得た。最初、実母に子どもを預けたが、母乳の重要性を考え、乳児の時は薬局のパートをし、日台合弁薬品メーカー4社の転職を経てきた。現在、薬品のバイヤーとして、欧米、日本と海外を飛び回る毎日だ。そんな彼女は、思春期の二人の子育てに悩む時、母親役割というジェンダー規範を強く感じるという。その一方で、台湾は、女性が男女差別を感じることなく働けることは、嬉しいと語る。

日本と台湾、それぞれの国にジェンダー規範はある。しかし、台湾の女性は就労も育児も選択肢が多い。また、家事を当たり前のよう男性が行う。そして、男女平等の社会が構築されている点である。「男女雇用機会均等法」から30年、日本の女性の地位は、果たしてどれくらいアップしてきたのだろうか？

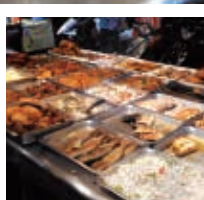
（齋藤典子）



▲好きなおかずをトレーいっぱい詰めて、ご飯と味噌汁がついて、280円。



▲働く女性の多くが利用する市場のおかず屋さん



参考文献

瀬地山 角『東アジアの家父長制』996、勁草書房
第六章 女性社会角色的轉變
<https://ncur.lib.nccu.edu.tw/bitstream/140.119/33270/1/3/51019113.pdf>
萬事達卡發表 2016 年最新「女性進歩指數與「生活品質滿意指數」
<https://www.mastercard.com/tw/consumer/assets/PDF/2016-03-07.pdf>



明日へとつなぐ メッセージ 編集員のつぶやき

一人ひとりが個性や能力を発揮することができる社会の実現が重要です。価値観や生き方の多様な世界で、自分らしい生き方を模索し続けましょう。男女共同参画社会を明日へ繋げるための方策を編集員も考えました。



世界のダイバーシティ推進国に比べ、日本は制度も概念も発展途上だと日々思い知らされる。一方で、遅まきながら「性差による役割分担の押し付けは違法である」と明文化され、社会的に認識されるレベルまでにはたどり着いていることに、希望も感じる。変革を求めて声を上げ、今日まで歩み続けてくれた先人に感謝する。私たちも性別や国籍に縛られない社会を目指して、希望のバトンを次世代へ渡さなくては。



家事・育児・介護を家族で分担することから、家庭内でも男女共同参画を進めていこう。妻だけの仕事ではない。夫も子どももそろそろ「手伝う」から脱却し、主体的に自ら動けるようになろう。「手伝う」うちは共同参画は途半ば。家庭内の小さな一歩ではあるけれど。家事を共に担う家庭を見てきた子どもが成長した時、当たり前のこととして家事を分担するだろう。それが普通になれば、家事ダン、イクメンなんて言葉は古い時代の言葉になるだろうね。



私自身、社会科の授業などで「男女共同参画」と出てくると、漢字ばかり並べられてよく分からない言葉というイメージがありました。でも、勉強してみると、男も女も関係なく全員が楽しんで生活するということだと思います。窮屈に生きていくのは嫌ですよ。やりたいことを思い切って出来る人生にするためには、一人ひとりが今の社会、これからの社会を考えなければならないと思います。



台湾の女性に「台湾では、どのような男女差別がありますか?」と尋ねると、怪訝な顔をされる。そして、学校、職場、家庭で男女差別をほとんど感じたことがないと、声を揃える。ただし、立場が平等であることは、責任も同等に課せられることでもある。既婚女性の最大の悩みは、家庭経済の管理を一任されることだと言う。さて日本。「男は外、女は内」の性別役割路線をこのまま踏襲するのか、それとも「男女共同参画社会の実現」に舵を切るのか、ジェンダー後進国の汚名を一刻も早く、返上しよう!

男女共同参画の代わりになる言葉を探してみただけで、思い浮かばない。そもそも、これまで日本になかった概念だから、仕方のないだろう。しかし、ちょっと角度を変えて考えたら、いい言葉がありそうな気がする。お互いの人権を尊重してみんなが社会に参加していく、という当たり前のことが意識されなくなるのは、言いえて妙な単語が見つかった時ではないだろうか。

男女共同参画、と聞くと難しく感じてしまうかも知れないけれど、要は、「男性も女性も、一人ひとりが自立した人間になること」ではないでしょうか。「これは男性／女性の役割だから自分には関係ない」と捉えるのではなく、どんなことも、自分の関わることとして、主体的に考えて取り組むことが大切なのではないかと思います。



あざれあ図書室にある おすすめの本を紹介します!



『僕が家庭科教師になったわけ:
つまるところの「生きる力」』

(小平陽一 太郎次郎社エディタス 2016年)

家庭科は「料理・裁縫」?化学教師から家庭科教師になった著者が、「自立したライフデザイン」「他者と関わる力」「つなげる力」など家庭科の魅力を伝えます。



『お姫様とジェンダー:』

アニメで学ぶ男と女のジェンダー学入門』

(若桑みどり 筑摩書房 2003年)

『白雪姫』『シンデレラ』『眠り姫』などのプリンセス・ストーリーには、どんな意味が隠されているのでしょうか。「女らしさ」「男らしさ」の視点から考えた一冊です。



『ジェンダー論をつかむ』

(千田有紀、中西祐子、青山薫 有斐閣 2013年)

セックスは生物学的性差、ジェンダーは社会的・文化的に作られた性差というのはちょっと昔の話!一歩進んだジェンダー論を丁寧に説明しています。

利 用 案 内

貸出:図書5冊、ビデオ・DVD2本(2週間)

*貸出カードが必要です。現住所、生年月日を確認できる身分証明書をお持ちのうえ、カウンターにてお申込みください。

開室時間:平日9:00~18:00、土日祝9:00~17:00

休室日:第1・3・5日曜日、図書整理日

TEL:054-255-8763 FAX:054-255-8759

編 集 員 募 集

募集人員 / 若干名

仕事内容 / 情報誌「ねっとわあく」(年1~2回発行)の企画・取材・原稿案の作成・編集から発行まで

作業会場 / 静岡県男女共同参画センターあざれあ

募集締切 / 平成29年4月10日(月)まで

応募書類 / 応募用紙、作文「私のつくりたい男女共同参画情報誌」(1000字以内)で選考

そ の 他 / 1号発行につき3万円。別途、会議や取材などの交通費支給
問合せ先 / あざれあ交流会議グループ TEL 054-250-8147

E-mail info@azarea-navi.jp

編 集 後 記



写真 後列左から 齋藤典子 薬科可奈 永島京子

前列左から 小長谷倅子 國井良子 高柳溪一

●男女共同参画についてパートナーと語り合う。たいてい、互いの主張を譲らず口げんかになる。それでも幾度となく議論になるのは、実は身近な話題だし自分にも関係のあることだから。「ジェンダー」「平等」「男女共同参画」、私自身、もっと早く若いうちからこの視点を持っていたらよかったとしきりに思う。

(編集長 國井良子)

●今回の号を通して、自分自身もこれからのことを考えさせられました。男女共同参画においてはまだまだ発展途上な日本でどのように生きていくかは、自分たち次第なのだと思います。

(小長谷倅子)

●西野カナのヒット曲『トリセツ』をジェンダーの視点で論じてもらった。リポートに「喧嘩で女性が泣けば、男性は『女を泣かせて』と非難され、女性は平気で鋭い言葉で男性を傷つける。それでも男性は、『男のくせに』と言われるのを恐れ、泣くこともできない。こんなところにジェンダーは潜む」とあった。現代と40年前の若い男女の力関係が余りにも違うことに改めて気が付かされた。

(齋藤典子)

●もう十何年前の、自分が高校生だった頃を思い出しながら作業を行う日々でした。私も当時、勉強や高校生活などを通して、男女共同参画について気づき考え始めるようになった時期でした。本誌が現役高校生の方々にも、もちろん、それ以外の方々にも、男女共同参画について気づき考えるきっかけになったらいいなと願っています。

(高柳溪一)

●家庭科は面白い。結婚してからずっと、私の家庭科は続いている。子育ても終わったことだし、もうそろそろ卒業したいが、終わりはないのが家庭科だ。そのうえ、きりが無い。仕方がないから、これからは自分のための家庭科を楽しむとしよう。

(永島京子)

●周りの多様性を認めることは、他者から自分らしさを認めてもらえることにつながる。安易なダメ出しはやめて、相手の立場で考え受け入れてみよう。変えるのはまず自分から。全人類が共に参画する社会を目指して私なりに頑張りたい。子どもたちにより良い未来を!

(薬科可奈)

発行日/平成29年3月25日

企画・編集・発行/あざれあ交流会議グループ

〒422-8063 静岡県駿河区馬淵1丁目17-1

TEL/054-250-8147 FAX/054-251-5085

編集長/國井良子

編集員/小長谷倅子/齋藤典子/高柳溪一/永島京子/薬科可奈

イラスト/梅田智江

印刷/星光社印刷株式会社



ねっとわあく

2017/03/25 Vol.68

「ねっとわあく」は年1~2回発行します。県民生活センター、県内の男女共同参画センター、市町役場、公民館などの公共施設で配布しています。会社や友人にもぜひ回覧してください。